

「北海道Society5.0懇談会」設置の趣旨について

趣旨

- 国では、急速に進展するICT技術を活用して、経済発展と社会的課題の解決を両立させる未来社会を「Society5.0」として位置づけ、その実現に向けた取組を加速している。
- 人口減少や高齢化の急速な進行に伴う労働人口の減少や地域における医療・教育の確保、経済のグローバル化に対応した産業競争力の向上など、本道が直面する様々な課題をICT技術を活用して解決し、活力ある北海道の実現に向けた取組を進めることが重要である。
- このため、道では、学識経験者や民間事業者、行政機関などからなる懇談会を設置し、今年度内を目途に、ICT技術を活用した北海道の未来社会の姿を示す「北海道Society5.0構想」を策定していただくこととしたところ。

「北海道Society5.0」=ICT技術を活用した、活力にあふれる北海道の未来社会
(※：概ね10年後を想定)

北海道Society5.0懇談会

- ・ 学識経験者や事業者、経済団体、行政機関などで構成
- ・ 道民がみんなで目指す北海道の未来社会（概ね10年後の将来像）について議論
- ・ 年度内を目途に「北海道Society5.0構想」を策定
- ・ 懇談会として、知事に提言いただくとともに、広く道民にその内容を発信し、北海道の未来社会について共有

スケジュール

令和元年10月～「北海道Society5.0懇談会」設置（4回開催予定）
令和2年3月～構想取りまとめ、広く道民に発信

「北海道Society5.0構想」策定の背景

「北海道Society5.0」＝ICT技術を活用した、活力あふれる北海道の未来社会
(概ね10年後を想定)

北海道の現状と課題

- ・経済のグローバル化
- ・インバウンドの急増
- ・産業競争力の強化

- ・人口減少（過疎化の進行）
- ・少子高齢化の進行
- ・人手不足
- ・地域交通、物流網の確保

- ・札幌市への一極集中
- ・地域における医療・教育の確保
- ・情報格差

- ・厳しい財政状況
- ・インフラの老朽化
- ・切迫する大規模災害
- ・働き方改革
- ・行政のデジタル化（利便性向上）

- ・安定的な電力確保
- ・温暖化対策、環境保全
- ・自然エネルギーの活用
- ・コンパクトなまちづくり・・・

産業の振興

- ・自動走行トラクター
- ・IoT活用によるSmart農林水産業
- ・ICT建機による建設現場のICT化
- ・自動翻訳機の普及拡大
- ・オープンデータ化による産業振興
- ・ロケット打ち上げ拠点の整備
- ・キャッシュレス決済の普及
- ・害獣被害の防止

安全・安心の暮らしの確保

- ・遠隔医療の充実
- ・遠隔授業の拡充
- ・バス、トラックの自動走行実現
- ・MaaSの導入
- ・物流へのドローン活用
- ・ICTによる減災、被災地支援
- ・テレワークの導入拡大

北海道Society5.0

- ・電子申請の利便性向上
- ・自動走行による除雪
- ・IoTやドローンによるインフラ管理
- ・RPAやAI導入による業務効率化
- ・基幹システムの共同利用
- ・マイナンバーカードの普及
- ・情報連携による添付書類の省略
- ・テレワーク環境の整備
- ・Smart道庁の実現

行政の効率化

- ・5G基盤整備
- ・携帯電話不感地域の解消
- ・WiFi環境の整備
- ・農地等における光ファイバの敷設
- ・LPWA利用環境整備
- ・実験環境の提供
- ・
- ・

インフラ・基盤整備

Society 5.0について

1 Society 5.0とは

我が国が目指すべき未来社会の姿として「第5期科学技術基本計画」(H28.1.22閣議決定)において提唱された、サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)。

○ Society

Society 1.0: 狩猟社会 (～縄文時代)	～野生動植物の狩猟や採集が生活基盤
Society 2.0: 農耕社会 (弥生～江戸時代)	～農耕が発達、村や武家社会が誕生
Society 3.0: 工業社会 (明治～昭和時代)	～文明開化に伴い、機械産業が発達
Society 4.0: 情報社会 (平成時代)	～IT革命に伴い、ネットや携帯が普及
Society 5.0: 超スマート社会	～科学技術の成果があらゆる分野に浸透

Society 5.0で実現する社会



[内閣府作成]

2

分野	主な内容
交通	・超低遅延通信の実現による自動走行で渋滞や事故のない快適な移動 ・カーシェア、公共交通の組み合わせでスムーズに移動
医療 介護	・高精細な映像コンテンツ配信による総合病院と地域診療所間における遠隔医療 ・医療・介護現場でのロボットによる介護支援
もの づくり	・多数同時接続によるロボットやセンサーを活用したスマート工場 ・超低遅延通信の実現によるトラック隊列走行での物流効率化
農業	・超高速・大容量の通信環境の実現によるロボットやドローンでの農作業の自動化、省力化 ・AIのサポートで経験やノウハウの共有など最適な営農計画
食品	・AIで家庭冷蔵庫の食材管理などロス削減 ・AIで店舗の在庫最適管理など経営改善
防災	・アシストスーツや救助ロボットにより被災した建物から救助 ・超低遅延通信の実現による避難所にドローンや自動配達車により救援物資を配送

2 Society5.0と5G

5G	超高速、超低遅延、多数同時接続という3つの特性を有する第5世代移動通信システムであり、医療、教育、農業、働き方改革、モビリティなど様々な分野における活用が見込まれている。Society5.0時代におけるデジタル活用共生社会の実現に向けた必須の基幹通信インフラ。 (2020年春の商用サービス開始予定)
----	---